

インフォメーション・アクセス

INFORMATION & ACCESS

学校見学・相談会

夏季学校見学会

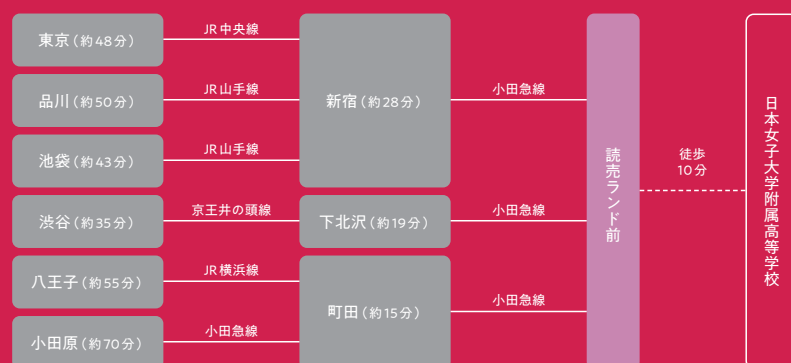
もみじ祭（文化祭）

学校説明会

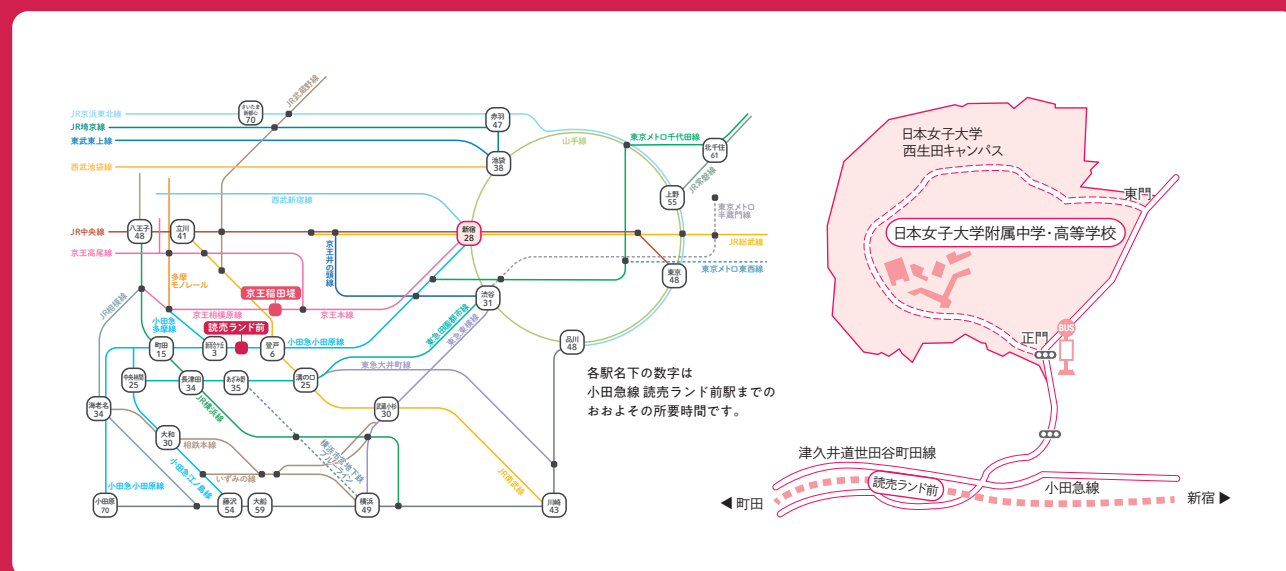
7/4 [土]	7/25 [土]・26 [日]	10/31 [土]	11/14 [土]
9/12 [土]	8/12 [水]・13 [木]	11/1 [日]	
10/17 [土]	14 [金]・15 [土]		
	16 [日]・22 [土]		
	23 [日]		



お申し込み方法など
詳細はホームページを
ご確認ください。



- 小田急線 読売ランド前駅より徒歩約10分
- 京王線 京王稲田堤駅前 城下バス停よりバス約10分
(生田折返場行 女子大前下車)
(JR南武線稲田堤駅から城下バス停まで徒歩約7分)
- 京王線 京王よみうりランド駅よりバス約15分
(寺尾台団地行 女子大前下車)



 日本女子大学附属高等学校
THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1

TEL: 044-952-6705 (入試事務室) FAX: 044-954-5450 E-mail: n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp



ホームページ



Instagram

GUIDE BOOK 2027



日本女子大学附属高等学校

THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.





教育綱領

三綱領

信念徹底 | 自己を見つめ、信念を確立する

自発創生 | 自発的な試みから独自性が生まれる

共同奉仕 | 社会との交わりが人を成長させる

創立者 成瀬仁蔵は教育綱領として「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの言葉を残しました。この綱領にこめられているものは、成瀬自身の生き方の発露であり、社会に生きる者に通用する理念であるといえるでしょう。この三つの綱領は、本学創立以来の教育方針の根底にながれている教育理念であり、本学園の教育実践のよりどころとなっています。



創立者 成瀬仁蔵が創立時に唱えた「自学自動」「自念自動」の精神は、高等学校において「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」という教育目標として浸透しています。



校章について

本校の校章は、1952年（昭和27年）、生徒から募集した図案を参考に、東京藝術大学教授 高村豊周氏（高村光太郎の弟）に依頼し、作製していただいたものです。日本女子大学にゆかりの深い桜と楓があらわっています。

HISTORY of

THE SENIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.

120年の伝統と叡智 日本女子大学附属高等学校のあゆみ



開校時の附属高等学校校舎と正門から延びる桜並木

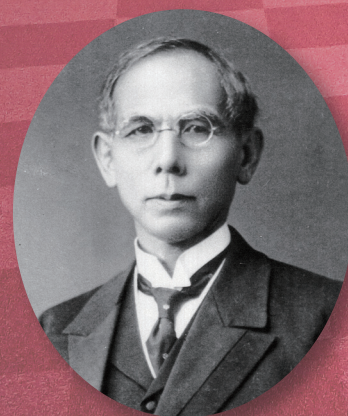


創立者成瀬仁蔵（前列右から3人目）、渋谷栄一（日本女子大学校第3代校長、前列右から4人目）、創立当時の教員との集合写真

創立者

成瀬 仁蔵

1858（安政5）年、周防国吉敷郡吉敷村（現在の山口市）の藩士の家に生まれる。1890（明治23）年に渡米、女子教育の研究を行う。1894（明治27）年に帰国し、『女子教育』を出版、女子大学設立運動に着手。1901（明治34）年、初めての総合的な女子高等教育機関として、日本女子大学校を創設。精神教育を重んじ、自学自習を奨励し、生涯教育を主張した。1919（大正8）年、告別講演を行い、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の教育綱領を揮毫し、永眠した。



1901

日本女子大学校の開校とともに
附属高等女学校が開校

1906

附属豊明小学校・幼稚園が開校
軽井沢三泉寮が開寮

1919

成瀬仁蔵告別講演が行われる

1947

附属高等女学校を母体に
目白に附属中学校（新制）が開校

1948

日本女子大学（新制）が発足
附属高等女学校を母体に西生田に
附属高等学校（新制）が開校

1979

西生田キャンパスに中高合同校舎
（現在の校舎）が完成

1993

ニュージーランド国際交流を開始

1996

西生田成瀬講堂が竣工

1998

週5日制を導入

2001

日本女子大学が創立百周年を迎える
また、附属高等女学校の
開校からも100年目を迎える

2002

アフガニスタン女性教育支援
プログラムへの取り組みを開始

2017

特別講座「知の泉」を開講

2021

開校から120年目を迎える



PHILOSOPHY of

THE SENIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.



自ら考え、自ら学び、自ら行う 互いを尊重し、共に成長する



校長 中田 大成

本校の卒業生は、「芯が強く、臆することなく自身の考えを述べるができる」と評されることが多々あります。これは、創立者・成瀬仁蔵が掲げた「自学自動」の教育方針や三綱領のうち、「信念徹底」「自発創生」の理念を追求してきた教育の成果であると自負しております。「正義とは何か」「信頼とは何か」といった哲学対話、あるいは格差問題をはじめとする社会課題への討議を真摯に繰り返す中で、生徒たちは自らの思考や行動の指標となる価値観・倫理観を養います。また、広々とした空間とゆったりと流れる時間の中で、心ゆくまで好きなことに没頭する体験は、生徒たちに自らの

天賦の才を自覚させます。その結果、内からあふれ出る力を感じ、それを糧に、独自の価値を創造し、自信を持って表現する力を獲得していくのです。「共同奉仕」は、日本で初めて教育現場に導入された伝統ある自治活動によって育まれます。生徒全員が主体となり、対話と試行錯誤を繰り返しながら運営するこの活動は、まさに現代が求めるコミュニケーションやコラボレーションの訓練の場です。伝統ある教育方針や三綱領は、時代を経ても色褪せることなく、今を生きる生徒たちの輝きの中に鮮やかに再生されています。

スクールミッション

本校の教育理念は、創立者成瀬仁蔵の遺した三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」に示されています。自治と自由を尊重する校風の中で、生徒一人ひとりの個性を大切にし、幅広い教養と豊かな人間性を備え自立した人を育成します。

スクールポリシー

アドミッション・ポリシー

（入学者の受け入れに関する方針）

- 多様な学びの機会がある高校生活に主体的に取り組みたい人
- 人との関わりを大切にしながら自分らしい高校生活を送りたい人
- 自己を確立し、自信を持って社会で生きていく力をつけたい人

カリキュラム・ポリシー

（教育課程の編成及び実施に関する方針）

学習活動と自治活動の両面で様々な学びの機会を提供することにより、生徒の自発的な成長を促し支える。

- 大学進学を前提として、全教科にわたり偏りなく基礎的な力をつける
- 個々の関心に基づき、多様な学びを通して深く学ぶことの楽しさを知る
- 主体性をもって高校生活を送ることで、自ら考え実行する力を育む
- 多くの話し合いを通して、互いに尊重しあいながら問題を解決していく力を養う

グラデュエーション・ポリシー

（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 自ら考え、自ら学び、自ら行うことのできる人を育てる
- 信念を持ち、創造的に行動し、よりよい社会を作るための使命感と協調性を身につけた人を育てる
- 様々な活動を通して視野を広げ、周囲との信頼関係の中で適切に判断して行動できる人を育てる

3年間の歩み

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
HIGH SCHOOL
-OUR THREE YEARS-

1年生

買ったばかりの制服を着て、新しい鞆を持ち、入学式に臨みました。新しく始まる高校生活への期待が膨らむ一日でした。

1年生

大ホールの席に座ると、隣に座った初対面の子が話しかけてくれました。桜を背景に笑顔の写真を撮りました。

4月 入学式

入学式

さまざまな体験が
あなたを待っています！

1年生
FIRST-YEAR STUDENTS



選択授業
スタート！

いよいよ
軽井沢セミナー

ワクワク！
クラス替え

2年生
SECOND-YEAR STUDENTS



1年生

上級生からクラブや勉強の仕方など色々教えていただき、これから始まる高校生活について期待が高まりました。

4月 全体ホームルーム

1年生

出会ったばかりの仲間たちと八景島シーパラダイスを訪れ、水族館や乗り物を楽しみ笑顔あふれる一日を過ごしました。

5月 遠足

進路決定！

3年生
THIRD-YEAR STUDENTS

FUTURE

どんな未来が君を待っているかな？
ワクワクする未来を
想像してみよう！！

LET'S BROADEN
OUR HORIZONS!



卒業式

思い出を胸に、
未来へ！



1年生

自分で科目を選ぶのは初めてでした。説明会を聞き、来年の授業や大学進学を少しずつ想像できるようになりました。

2年生

さまざまな選択科目の中には取
りたい科目が多くて選ぶのが大
変でしたが、何を学びたいのか
を考える機会にもなりました。

5月 地域研究

3年生

委員として二次次からコース紹介やしおり作りを準備しました。友人と出かけた先にはいつもと違う景色がありました。

3年生

友だちと相談しながら自由行動の計画を立てました。色々な場所で友だちと一緒に撮った写真がたくさんあります。

11月 選択授業

2年生

球技三種目で競うスポーツデーはクラス対抗トーナメントです。三年生にも絶対勝つ！と挑みました。一年生が強かったです。

3年生

クラスの皆と過ごす日々もあと少しの中、競技や応援でクラスメイトと盛り上がり、点が入るたび大歓声をあげました。



2月 スポーツデー





Q1

THE DISTINCT ADVANTAGE of
THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

学習活動

本校のカリキュラムは、全教科にわたって、幅広い分野の学力を身につけることを大きな柱としています。生徒は学ぶことの楽しさにふれながら、豊かな教養と主体性を育てています。

カリキュラム

教科	必修																												選択		必修									
	国語			地歴・公民				数学			理科				保健体育		芸術			外国語				家庭情報		選択A	選択B	総合的な探究の時間	ホームルーム											
科目	現代の国語	言語文化	文学国語	古典探究	地理総合	歴史総合	日本史探究	世界史探究	公共	倫理	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	物理	化学	生物	体育	保健	音楽総合	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	工芸Ⅰ	書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	家庭総合	情報Ⅰ	5科目選択	1科目選択	1科目選択			
							└┐											└┐ 1科目選択						└┐ 1科目選択																
高1	2	2				2			2		3		2		2	2	2				2	1	1					3			2			1					1	
高2			2	2	2					2		4						3			2	1			2				3			2	2	1	2			1	1	
高3			2	1			3						2					2			3								3		1	2		8	2	2	1			

※2026年度のもので、カリキュラムは変更の可能性があります。

広く学び、深く究める

本校では二次より必修科目に加え多様な選択科目が始まります。選択科目では、より専門的な分野を学べる講座や、少人数演習、第二外国語の授業などもあり、各自が知的好奇心に基づき自由に授業を選択することで、一人ひとりの希望にあった学習が実現しています。

選択科目の例

2年生 選択A

評論基礎、古典読解Ⅰ、歴史総合発展、数学C、数学基礎、生物A

3年生 選択A

現代文学、古典甲（平安文学）、世界の都市、政治・経済、数学Ⅲ、物理概説、ライティング、情報Ⅱ など

3年生 選択B

児童文学、時事問題、線型代数、総合数学、データ科学、仏語、独語、中国語、ディスカッション、基礎・応用英文法 など

3年次の時間割例

必修授業では文系・理系を問わず幅広く基礎を学ぶ過程で、自分の興味・関心を見つけることができます。将来の進路に合わせて、より専門的な科目を選ぶ生徒もいれば、進路にとらわれず、自分がより深く学びたいと思う科目を選択する生徒もいます。それぞれの生徒が自分だけの時間割を作成し、意欲的に学んでいます。

■ 理系進学モデル

	月	火	水	木	金
1	日本史探究（歴史選択）	物理（選択A）	化学（理科選択）	体育	英語コミュニケーションⅢ
2	文学国語			英語コミュニケーションⅢ	古典探究
3	数学Ⅲ（選択A）	英語コミュニケーションⅢ	数学Ⅲ（選択A）	家庭総合	日本史探究（歴史選択）
4		文学国語			
5	数学B	数学B	体育	物理（選択A）	応用英文法（選択B）
6	LHR	体育	論理・表現Ⅱ		

STUDENT'S VOICE

授業を通して疑問が解消され、新しい知識を得ることで知的探究心が刺激されます。数学Ⅲでは、必修科目の数学で学んだ定理や性質を証明することで、概念を理解し直し、より深い領域へと理解を広げることができました。自分の興味や将来の進路に合わせた学びが柔軟な学習環境によって可能となりました。



■ 文理融合モデル



STUDENT'S VOICE

私は理系分野に進学をしましたが、選択授業は自分の興味に基づき選びました。数学の背景を理解した上で解法を自分で考える数学Ⅲの授業や、狂言や歌舞伎などユーモアあふれる江戸文学を味わう古典丙の授業など、自分自身の知的関心に基づく主体的な学びを通して、勉強の楽しさを実感しました。

	月	火	水	木	金
1	物理（理科選択）	古典丙（選択A）	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅱ	日本史探究（歴史選択）
2			体育	文学国語	
3	数学Ⅲ（選択A）	家庭総合	数学Ⅲ（選択A）	英語コミュニケーションⅢ	体育
4				数学B	文学国語
5	日本史探究（歴史選択）	数学B	古典探究	情報Ⅱ（選択A）	工芸（選択B）
6	LHR	体育	英語コミュニケーションⅢ		



STUDENT'S VOICE

3年生

学びを広げた挑戦

私は理解の幅を広げたいと思い、英語、政治・経済、地理に加え、データ科学を選択しました。統計分析ソフトを用いた授業に初めは難しさを感じましたが、授業を重ねるごとに知識と技能が身につきました。知識を実践的に活かす授業の成果として、学外開催のデータコンペティションに参加し、最優秀賞を受賞しました。文系の知識を活かしながら理系の分析手法を取り入れることで、文理融合の視点から課題解決に挑戦することができました。

STUDENT'S VOICE

2年生

五感を通して始まる 化学の探究

私はさまざまな分野の授業を受ける中で、化学に魅力を感じました。授業では、石鹸の合成など印象的な実験がたくさん行われ、ポコポコと音を立てて気体が発生したり、香りが生じたりするなど、様子の変化を五感で確かめることができます。実際に自分の手で実験するからこそ、疑問が次々と生まれます。疑問について調べ、レポートで考察していく時間は、化学への理解がさらに深まり、現象の本質に迫る学びに繋がりました。



STUDENT'S VOICE

1年生

学びの宝箱の中から見つかる 自らを支える軸

あ、楽しい。文理の枠を超えた幅広い学習は、新たな興味が見つかる宝箱です。「わかる」まで深く考え抜く歴史や国語。理科では、広大な自然や施設をいかしたさまざまな実習・実験が行われます。手を伸ばせばいつもそこに学びのチャンスがあります。どんな小さな興味も大きな成長へと導く仕掛けのおかげで、興味の扉はどんどん開きます。机上にとどまらない勉強は、いつしか自らを支える軸となるでしょう。

学びの特色

教科授業とは別の、新たな魅力ある学び

本校では、大学附属校ならではの環境をいかし、各分野の専門家による授業、社会で活躍する卒業生の話、日本女子大学の教員による講義や学生からの助言、語学や海外の文化を学ぶ機会など、多様な学びの機会を提供しています。

特別講座 知の泉

自分の世界を広げ、新たな一步を踏み出そうとする人のためにさまざまな講座を用意しています。社会で活躍する方々を講師に迎え、現代社会の諸問題について理解を深めたり、普段なかなか知る機会のない数学のトピックや最新の科学研究・技術開発について学んだり、英語や小論文の力を伸ばしたり。各自の興味・関心にしたがって自由に参加できます。

■ 現代社会を見つめ未来を見通す

- 難民問題
- イスラエルパレスチナ問題について考える
- 意外と知らない手話通訳士の世界

■ 興味のある分野をより深く学ぶ

- 数学を究める
- 薬学を学ぶ
- 統計学とデータサイエンスを学ぶ

■ 自分の力を伸ばし将来に生かす

- TOEIC 対策講座
- 自己を見つめてPR！～小論文対策講座～
- 志望理由書を書いてみよう

特別授業

すべての生徒が豊かで主体的な人生を送るために必要なことを学ぶ特別授業を行っています。

■ ライフデザイン教育

卒業生が語る人生から自分の将来を思い描く

■ シチズンシップ教育

弁護士の先生などから良き市民であるために必要な法律知識等を学ぶ

■ ヘルスリテラシー教育

医学や心理学などの専門の先生から心身の健康について学ぶ

グローバル教育

■ 個々の力を伸ばす外国語教育

長期休暇を中心にeラーニングを実施。3年次には仏・独・中国語の選択授業もあります。

■ 海外語学研修

英国の名門校チェルトナム・レディース・カレッジのサマースクールに参加できます。

■ 留学単位認定制度

指定団体による年間派遣留学は、校長推薦により最大32単位まで包括認定され、留学後も出発前と同じ学年に復学できます。

■ 英語資格講座

英語eラーニングや英検・TOEIC・TOEFLの資格試験に特化したさまざまな講座を開講しています。

■ 国内語学研修

英語を用いて外国の文化を学ぶオンライン講座に参加できます。

STEAM教育

■ 情報科連携授業

情報科と国・社・数・理・英・家との連携授業。データ処理などを経てレポート作成等を行います。

■ データサイエンス

数学や理科の必修科目で統計的推測や収集。データサイエンスへの理解を深めます。

■ ICT環境の積極的活用

各自の端末を学内Wi-Fiに接続。Microsoft 365などのツールや授業支援システムmanabaを活用します。

高大連携プログラム

■ 科目等履修生制度

日本女子大学の指定科目をオンライン受講する制度。「先取り単位」に認定される場合もあります。

■ 留学準備プログラム

日本女子大学の協定大学に留学した本校出身の大学生から留学の体験談を聞きます。

■ 春期セミナー

春休みに日本女子大学の授業を体験。各学科の特徴を知り進路を考える良い機会となります。

その他の学び

● 兼習

希望者対象の放課後の課外活動として、茶道・華道・箏曲・英会話の4講座を開講し、専門の先生を週に一度お招きしています。

● 「樹木と果実」

毎年刊行される研究誌「樹木と果実」は、教員に推薦された生徒の作品を収めています。レポートや小論文、小説、写真など、探究と創作の成果を紹介しています。

VOICE
02

高校生活研究セミナーでの話し合いなどから、自分とは異なる価値観に出会った時には、相手がおもうとしていることを感じ取ろうとする姿勢が大事だということを学びました。

クラス委員（1年）、総務（2年、3年）

VOICE
04

一人では何も成し遂げることはできず、ただのひとりよがりになってしまうからこそ、周囲と協働することが大切です。行動しようとする人を助け、協力してくれる仲間とたくさん出会えました。

クラス委員（1年）、体育部部长（2年）

VOICE
06

仲間と切磋琢磨しながら、話し合い、支え合うことで、強いチームワークと最後までやり抜く力を身につけました。困難を乗り越えた先にあるかけがえない想いを、仲間と分かち合いました。

副クラブ長（3年）、合宿マネージャー（3年）

VOICE
01

スポーツデーではルールの見直しや当日の進行、競技の審判など生徒主体で準備をしました。誰かの姿が自分の活力となり、自分の姿もまた誰かの活力になると実感します。

体育部部长（1年、2年、3年）

VOICE
03

軽井沢セミナーは、正解も指示もない中で自ら考え語り合う三日間です。委員会では皆が自己と向き合える設問を熟考し、当日は言葉を編み直し、温かさの中で発言が生まれる場を整えました。

軽井沢セミナー前期委員長（2年）

VOICE
05

もみじ祭で務めた校舎内の設営に関わる係の長や研究グループ長、クラブ長などを通じて、リーダーシップを養うことができました。仕事を上手く進行させる達成感や楽しさを感じました。

研究グループ長（2年）、クラブ長（3年）、係長（3年）

STUDENT'S VOICE

自治委員長

自治と自由の花が咲く
この学校は、あなたの
個性が輝く場所です。

私は自治活動が大好きです。自治とは、自らを治めること。生徒は、決められたルールの上を歩くのではなく、自ら考え行動することで学校生活を支えています。私たちが自治活動に邁進できるのは、生徒同士が個性を尊重し認め合う環境があるからだと思います。私はこの学校での自治を通して、色々な私を見つけることができました。授業を受けて新たな学びを得ること、自治委員長として全力で活動すること、クラブ活動で仲間と何かを作りあげること、大好きな友人や先生と過ごすこと。毎日が充実していて、高校生活を存分に謳歌しています。かけがえない高校生の三年間。この自治と自由の花が咲く学校で、あなたの個性を活かして輝ける場所が必ず見つかります。

02

THE DISTINCT ADVANTAGE of
THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

自治活動

本校では「学習活動」と「自治活動」の二つを教育の柱として掲げています。全ての生徒が自治会の一員として学校生活における仕事を分担しています。自治活動を通して、自立した人間として社会へ貢献する力を養います。

STUDENT'S VOICE

3年生

自治とは
「挑戦と成長の場」です。

私にとって自治とは「挑戦と成長の場」です。三年間でクラス委員や運動会の係長を務めました。勉強やクラブ活動との兼ね合いは大変でしたが、それ以上に大きなものを得ることができました。学校生活に関するさまざまな議題を話し合う全校委員会は、新たな価値観を知ることができる貴重な機会となりました。自分に務まるのかという不安がありましたが、交友関係が広がり、大勢をまとめる力がつくなど、自分自身の成長にも繋がったと感じています。

年間行事

THE SCHOOL YEAR CALENDAR

4

April

- 始業式 ● 入学式
- 新生オリエンテーション
- 全校会・歓迎会 ● 健康診断
- 創立記念日(20日)

5

May

- 地域研究フィールドワーク(3年生)
- 遠足(1・2年生) ● 運動会

6

June

- 日本女子大学各学科個別相談会(3年生)
- 前期中間試験 ● 授業参観
- 成瀬先生生誕記念日(23日)
- 高校生活研究セミナー

7

July

- 芸術鑑賞会
- 日本女子大学各学科説明会(2年生)
- 終業挨拶 ● 夏季合宿

8

August

- 海外語学研修(イギリス等)

9

September

- 始業挨拶
- 軽井沢セミナー(2年生)
- 日本女子大学教員による特別講義(2年生)

10

October

- 前期末試験 ● 全校会
- 前期終業式
- 後期始業式 ● もみじ祭

11

November

- 高校生活研究セミナー
- 日本女子大学各学部説明会(1年生)

12

December

- 進学試験・後期中間試験
- 図書部講演会
- 終業挨拶
- 冬季合宿

1

January

- 始業挨拶 ● 推薦入学試験
- 成瀬先生告別講演記念日(29日)
- 卒業生による日本女子大学各学科説明会(2年生)

2

February

- スポーツデー
- 一般入学試験
- 学年末試験

3

March

- 成瀬先生ご命日(4日)
- 音楽会 ● 全校会・送別会
- 卒業式 ● 終業式
- 春季合宿



STUDENT'S VOICE

運動会実行委員長

運動会は学年の壁を越え、心をつなげて優勝を目指す行事です。年度始めの行事なので友達との関係も深まります。運動会実行委員会は「全員が笑顔になれる運動会」を目標に掲げ、時間をかけて準備を進めてきました。当日、生徒一人ひとりが全力で競技に取り組み、皆の笑顔が広がる光景を見て、これまでの努力が報われたと深く感動しました。



STUDENT'S VOICE

もみじ祭実行委員長

もみじ祭は私たちにとって自分の持っている力をさまざまな場面で発揮できる行事です。一人ひとりがどのような発表にしたいかを考え、ゼロから準備するもみじ祭は本校の自治がもっとも発揮される行事のひとつだと思います。ときに仲間同士でぶつかることもあります。切磋琢磨して創り上げるもみじ祭はかけがえのない青春の思い出となります。



STUDENT'S VOICE

音楽会実行委員長

音楽会は、クラス合唱とオーディション合格者による演奏からなる行事です。合唱練習を重ね、クラスとしてまとまりが生まれ、歌が少しずつ形になっていく過程はとても楽しく、合唱を通して協力する姿勢を身につけることもできました。クラス全員で迎える年度最後の行事として皆で合唱に取り組めた時間は、特別な思い出になりました。



運動会

運動会は3学年縦割りの8クラスによる対抗戦で行われます。競技練習などを通して、新年度が始まって間もない時期のクラスの絆が深まる大切な行事です。運営は全校生徒で分担される係によって支えられています。趣向を凝らした歌や踊り、装飾が披露される応援発表も見どころです。



高校生活研究セミナー



芸術鑑賞会



図書部講演会

近年は重松清氏や太石静氏にご講演いただきました。



卒業生による学科説明会



軽井沢セミナー

2年生の秋には日本女子大学軽井沢三泉寮にて2泊3日で軽井沢セミナーが実施されます。全体討議・クラス討議や少人数のグループ討議などを通じて、多種多様な意見や価値観に触れて知的な刺激を受け、新たに自分自身を見つめ直す絶好の機会となります。



地域研究

日本各地に設定された4コースの中から歴史・文化・環境・平和・生活などに関するテーマを各自で設定し、事前に十分な予備調査をした上で3年生の5月に4泊5日で現地に出かけます。グループごとに作成した計画に基づいてフィールドワークに取り組み、その成果をレポートにまとめます。



もみじ祭

10月末に行われるもみじ祭では、ダンスや音楽の舞台をはじめ、研究展示、招待試合など、40を超える研究グループによる多彩な発表が行われます。もみじ祭実行委員会によるテーマに沿った企画や校内の装飾もあり、学校がもともと活気に溢れ、華やかな雰囲気包まれる行事です。



音楽会

3月に行われる音楽会では、クラスの仲間が気持ちを一つにして練習に励み、合唱を披露します。その歌はいつまでも忘れることのない高校時代の大切な思い出となります。オーディション合格者による演奏では、ピアノやヴァイオリン、声楽や箏曲などさまざまな分野のレベルの高い音楽が表現豊かに演奏されます。

クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

本校には40のクラブがあります。ほとんどの生徒がクラブに所属し、自治の精神を活かして活動に励んでいます。多くのクラブが長期休暇に合宿を行い、技術を高めるとともに確かな人間関係を築いています。

運動系

- 剣道
- 硬式テニス
- 水泳
- スキー
- ソフトテニス
- ソフトボール
- 卓球
- ダンス体操
- チアリーディング
- 馬術
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フィギュアスケート
- 陸上競技
- ワンダーフォーゲル

2026年度の一覧です。クラブ数や活動内容は変更されることがあります。

STUDENT'S VOICE

クラブ連盟委員長

放課後、校内はクラブ活動で一層賑やかになります。クラブ活動は一人ひとりが好きなことを見つけ個性を発揮する場所、かけがえのない仲間と出会うきっかけとなる場所です。本校は「自治の学校」であり、クラブ活動も生徒主体で運営されています。クラブ連盟委員会は各クラブのクラブ長40名が所属しており、円滑なクラブ活動の運営とクラブ活動の質の向上を目指しています。クラブ長同士で連絡を取り合い話し合いを重ねクラブのより良い在り方を考える時間は、自治を実感できると同時に学校を作り上げていく一人としての達成感を得られました。委員会を通して得た先生方や仲間との出会いや経験は、大きな成長に繋がりました。

文化系

- E.S.S.
- 囲碁
- イラスト
- 演劇
- かるた
- クッキング
- 軽音楽
- 弦楽
- コーラス
- 社会科研究
- 写真
- 書道
- 吹奏楽
- 生物
- 天文
- 人形劇団ベロッコ
- 美術
- V-RAM
- Play-Lot
- 文芸
- 放送研究
- ミュージカル
- レビュー
- ロボット研究

2026年度の一覧です。クラブ数や活動内容は変更されることがあります。

STUDENT'S VOICE

美術クラブ

美術クラブは個人制作と皆で取り組む共同制作とがあります。今年度、夏の単独合宿では長野県奈良井宿へ行きました。実際に外へ出て普段とは違った風景を油絵の具で自由に描く体験は楽しかったです。クラブ員やコーチの先生とそれぞれが描いた作品についてのミニ品評会も行い、クラブ員同士の仲も深まる充実した合宿になりました。もみじ祭では工芸室の壁の四面に飾る壁画を皆で制作しました。大きな壁画を作るには課題も多くあり、アイデアを持ち寄り、話し合いを重ねました。長い時間をかけて皆と一緒に一つの巨大な作品を作り、できあがった時には大きな達成感を得ることができました。準備も含めた全てが楽しく大切な思い出になりました。



施設紹介

FACILITIES



1 図書室

5万冊以上の蔵書と、生徒による企画展示が、訪れる人の知的好奇心に応えます。朝から放課後まで、いつでも読書や自習に使えます。



2 食堂

一度に400人以上が利用できる食堂です。定食や丼、麺類など、多くのメニューは日替わりで、パンやデザートまで充実の品揃えです。



3 もみじ劇場

校舎に囲まれ、陶器の椅子が並ぶ野外劇場。普段、晴れた日にはとても気持ちの良い憩いの場所に、もみじ祭ではその名の通り演奏や発表の舞台となります。



4 もみじモール

3年生の教室前に幅10m、長さ160mにわたって作られているゆとりのスペース。ピアノが何台も設置されており、自由に使うことができます。



5 科学館

物理・化学・生物の実験室は高校生が使うものだけで6つもあります。実験実習を多く取り入れた授業は、本校に理科好きの生徒が多い理由の一つです。



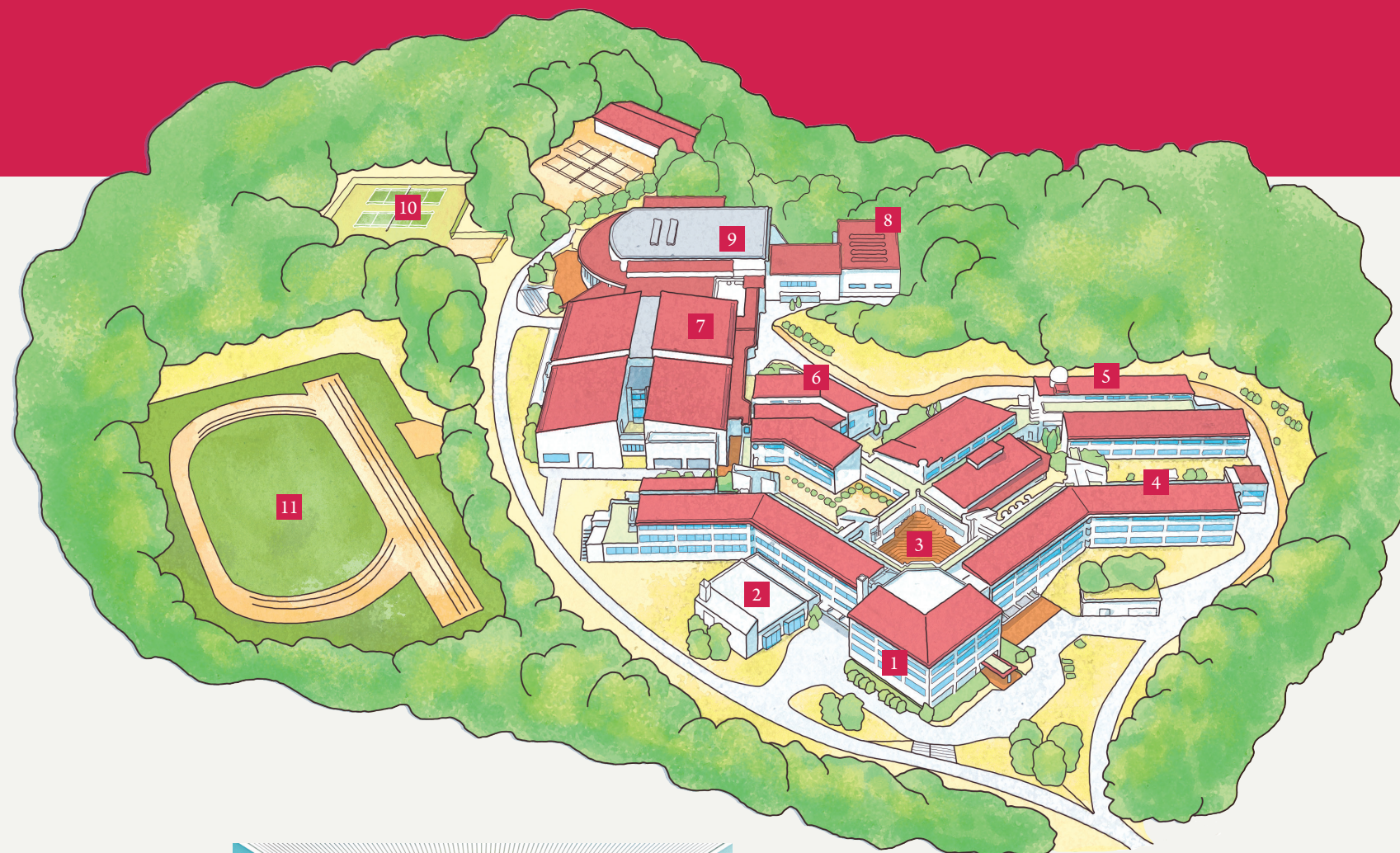
6 芸術館

2階は器楽室、声楽室、1階には美術室、工芸室、書道室など、多彩な専門室を備え、音楽から美術まで創造性を伸ばせる環境です。



7 体育館

バスケットボールができる大きさの体育館が2つと、さらにその約3倍の大きさの体育館が1つ。空調も完備され、思い切り運動したい生徒の元気に応えます。



8 室内プール

体育の授業やクラブ活動で使われる25m×6レーンの温水プール。窓が広く、緑の木々がよく見えるので、屋外で泳いでいるような気分です。



9 西生田成瀬講堂

本格的な音響・照明設備を備えた1,800名収容の大ホールと400名収容の2つの小ホールは、さまざまな式典や集会の会場として使われます。



10 テニスコート

森の中に、オムニコート4面、クレイコート2面があります。体育の授業やクラブ活動で、生徒たちはのびのびとテニスに取り組んでいます。



11 グラウンド

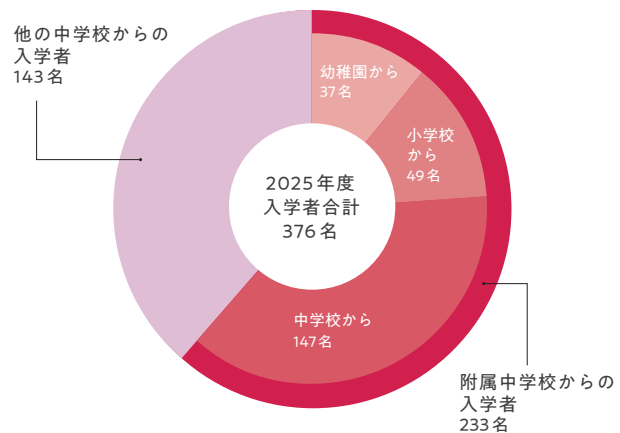
200mトラックの内側は芝生のフィールド。緑の木々に囲まれたグラウンドはとても清々しく、四季を感じながら爽やかな汗を流すことができます。

Q&A よく寄せられるご質問にお答えします



Q 附属中学校からの人たちと仲良くなれますか？

A 新しい環境に不安はつきものですが、本校では入学直後に速足や運動会などクラス行事があり、自然と友達ができます。生徒は出身中学に関係なく個性を発揮し、学校生活を楽しんでいます。毎年、入学者の約40%が高校からの入学生ですが、附属中学校からの入学者も新しい友人づくりに積極的なため安心して高校生活を始められます。附属中学では先取り学習をしていないので、高校入学生が不利になることもありません。



例年入学者のうち、約40%が高校から入学する生徒です。
一学年8クラスで、どのクラスも附属中学出身者と混合になります。

Q 朝は何時に始まりますか？

A 一年を通じて8時45分までに登校し、授業は8時50分に始まり、終礼が15時45分に終わります(後期は15時15分終了)。前期は50分、後期は45分授業です。放課後の活動は、17時40分(後期は17時20分)までです。



ONE DAY SCHEDULE

- 8:45 | 予鈴
- 8:50 | 授業開始
- 12:40~13:30 | 昼休み
- 15:20 | 授業終了
- 15:45 | 終礼終了
- 17:40 | 最終下校

後期は終礼終了15:15、最終下校17:20

Q 女子校の良さは何ですか？

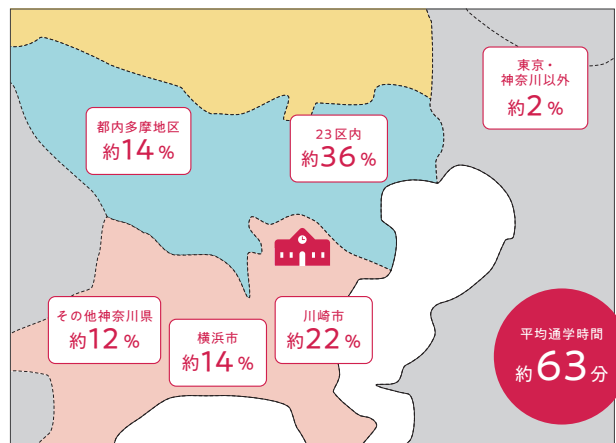
A 日本で最初の組織的な女子高等教育機関である日本女子大学校を開校した成瀬仁蔵は、人格教育を基本として本学の発展と充実に努めてきました。本校で育った生徒たちは、自己を確立し、自立した人間に成長しています。女子校だからこそ本校の生徒たちはジェンダースtereotypeに捉われることなく、ある時はリーダーシップを発揮して導き、またある時はフォローシップで仲間を支え、互いを尊重し共に成長して、豊かな経験を積んでいくことができます。

Q クラス編成はどのように行われますか？

A 1クラスは、定員が46名です。各学年は8クラスありますので、一学年は368名が基本です。
特別な編成はせず、附属中学からの進学者も高校からの入学者も同じ教室で授業を受けることになります。二年生になる際にクラス替えがありますが、この時も文系・理系などのコース別の編成はしません。これは一貫教育の中で広く教養を身につけ、さまざまなタイプの友人と三年間を過ごしてほしいという教育方針の表れです。一人ひとりの興味を深めたり、進路を視野に入れた学習は選択授業という形で実現されます。

Q 生徒はどんな地域から通学していますか？

A 本校の通学区域は、東京都内や近郊の各県に広範にわたっています。遠くから通ってくる生徒も多く、通学時間の平均は63分です。



Q 土曜日や長期休暇について詳しく教えてもらえますか？

A 2027年度から土曜日午前中も授業を実施します。土曜日には他にも定期試験や運動会、もみじ祭などの行事を行う場合もあります。土曜日の午後や長期休暇を有効に活用するためにプラスαの学びの場「特別講座 知の泉」を開催しています。「特別講座 知の泉」では、「TOEIC対策講座」などさまざまな講座に挑戦できます。

Q 通常の授業以外に補習などは行われますか？

A 日常的な学習習慣の醸成と希望する進路の実現に向けた学力向上を目的として2026年度より一年生対象に放課後学習支援(メンター自習室)を導入しました。生徒の登校日、長期休暇の指定日に実施します。日本女子大学進学へのサポートはもちろんのこと、他大学を目指す生徒に対する支援もします。全員を対象とした補習などが決まった時期に行われることはありませんが、科目ごとに希望者を対象として発展応用または弱点克服のための補習を行うことはあります。外国語科では英語を苦手とする生徒を対象に少人数の補習授業を実施しています。

Q 在学中に長期の海外留学をして復学することはできますか？

A 学校が指定する公的留学機関(AFS、YFU)に校長推薦を得て応募し、海外に一年間留学した場合は、希望により、所定の条件を満たせば出発時の回生に復学でき、三年間で卒業できます。その際、留学先で取得した単位は、最大32単位までを包括的に認定します。ただし、日本女子大学への進学については一定の制約を設けています。
また、学校の指定外の機関を利用して留学する場合は、一年間休学して一つ下の学年に復学することになります。

Q テレビに出たり、雑誌に掲載されたりするような活動は許されていますか？

A 本校では、学業および学内活動を生徒の最優先すべき活動と考えています。したがって学外における活動については、大変慎重に判断をいたします。学外での活動の希望がある場合は、事前に必ず学校長宛に所定の願い書を提出し、その許可を得たうえでのみ活動を行うことができます。

Q 制服はないと聞きましたが、どのような服装で通学したらよいですか？

A 本校の服装についての心得には、「通学服については、本校があえて校服を制定しない趣旨をよく理解し、生徒自ら定めた風紀規約を正しく守り、これにもとづいた服装をする」とあります。毎年、次年度自治会の責任者たちが規約改正準備委員会を発足させ、服装の規約に関してもそこで討議し、最終的には全校投票をもって決めます。生徒達は、この内規の中で自由に服装を選び、個性を表現しています。
現在の内規では、例えばスカート(またはキュロットスカート)について、紺・黒・グレーの無地でハードブリーツのあるものと定めています。また、スラックスについては、紺・黒・グレーの無地で形はストレートとなっています。内規に違反している生徒がいると、服装関係を担当している生活部を中心にしてその対策を考え、自分たちで作った内規が実行されるように、工夫を重ねています。なお、入学式、卒業式、始業式、終業式など学校の定めた日に式服(紺・黒のブレザー、スカートまたはスラックス、白無地のブラウス)を着用することと、頭髮の染色・脱色の禁止、化粧やアクセサリの禁止については、風紀内規ではなく、学校の決めた規則となっています。





GRADUATES'

卒業生メッセージ

神藏 茉有さん 2015年 卒業生

上智大学 法学部 国際関係法学科 卒業
富士通株式会社 グローバルサプライチェーン本部

先生は答えをくれる存在ではなく、自由に試行錯誤する環境を見守る存在だった。

自分で考えてまずはやってみる。高校時代はそんな挑戦の連続でした。初心者ではじめたバレーボールクラブで部長になり、何度もメンバーと練習について話し合ったこと。運動会の準備も生徒に任せ、進行だけでなく綱引きの綱まで友人と運ぶのが当たりまえだったこと。先生方は答えをくれる存在ではなく、私たちが自由に試行錯誤するのを見守ってくださっていました。そこで自然と、自分の意見を持ち、仲間と協力することで大きなことも成し遂げられるという自治の精神を学びました。大学でニュージーランド留学をしてから、グローバルな環境に興味を持ち、現在は外国人本部長の秘書をしています。違う文化で育った人と、英語でビジネスの交渉や戦略策定をするのは簡単ではありません。けれども仕事にも与えられた「正解」はないので、試行錯誤を楽しむ力が活かせる場所だと思います。興味のたねを育てて新しい学びにつなげることを、高校時代に体験してからずっと楽しんでいます。



福士 結香さん 2015年 卒業生

日本女子大学 理学部 物質生物科学科 卒業
東京工業大学 生命理工学院 博士後期課程 修了 博士(理学)
味の素株式会社 食品研究所

高校時代に知った「好きなことに熱中する楽しさ」は、研究の道を進む私の原動力。

私は高校入学当初、研究者になりたい、とは考えもしていませんでした。ところが、高校1年生の時に会った生物の先生のお話が面白くて、夢中で授業を聞いているうちに、生き物のもつ不思議な仕組みをもっと知りたい、と思うようになりました。友達や先生と一緒にロボット研究クラブを立ち上げた際にも、ものづくりに没頭しているうちに、試行錯誤を繰り返しながら新しいものを作り出す楽しさにのめり込んでいきました。そうして、次第に研究者の道を考えはじめ、大学では物質生物科学科を選択し、大学院でも研究に没頭する道を選ぶことを決めました。現在、私は企業の研究者として、人々の健康に役立つ素材を探索研究に、日々挑んでいます。高校時代に知った「好きなことに熱中する楽しさ」は、いまでも、研究の道を進もうえでの私の原動力です。好きと思う気持ちを後押ししてくれる先生・仲間の存在、そして好きなことに夢になれる空気感が、この学校の一番の魅力だと感じます。



外山 彩乃さん 2014年 卒業生

群馬大学 医学部 医学科 卒業
自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部

それぞれの場所で輝く仲間の姿に、背中を押されて。

私が医師を目指して勉強を本気でしようと思ったのは、高校1年生の秋頃でした。将来への不安に心が揺れることもありましたが、そんなとき、私を勇気づけてくれたのは、周りの友達の姿でした。休み時間に教室で勉強をしていると、クラブ活動や応援団の練習に一生懸命取り組む声が聞こえる。習い事で賞をとった友達を、クラスみんなでお祝う。そんな毎日の中で、「自分も、自分の目標に向かって頑張ろう」と自然に思えるようになりました。その後、公募推薦で群馬大学へ進学し、今は麻酔科医として働いています。手術中、患者さんの体に何か変化がないかを確認し、安全を守る役目の仕事です。緊張する場面も多いですが、外科の先生が安心して手術に集中できるよう、責任をもって仕事をしています。高校時代に学んだ、「仲間の挑戦から刺激を受け、自分自身を前向きに奮い立たせる力」は、今も私の大きな支えです。



尾郷 珠子さん 2014年 卒業生

日本女子大学 文学部 英文学科 卒業
長島・大野・常松法律事務所 秘書

「思考し、表現すること」に夢中になった3年間。

附属高校は私にとって「夢中になれるものに出会えた大切な場所」です。学業では、文系・理系の各科目を満遍なく学ぼうちに、現代文や英語の授業への関心が高まりました。文庫本をまる一冊読んで作品論や作家論を纏め上げたり、自分の考えを英作文したりなど、「思考し、表現すること」に夢中になった3年間でした。高校で培った集中力と表現力は、大学で英文の卒業論文を執筆した際にも役立ったと感じています。また、コーラスクラブに所属し、副部長として部長を支えつつ、日々の活動やコンクール出場に関するさまざまな仕事に携わりました。これらの経験は、法律事務所の弁護士秘書として幅広い業務を行っている今に活かしています。勉学に励んだ教室。合唱が大好きな仲間と臨んだ鹿児島や広島での全国大会の舞台…。どの光景も懐かし思い出します。私や周りの友人たちがそうであるように、生田の森での高校生活は皆様にとってもかけがえのない3年間となるはずです。



下村 彩里さん 2013年 卒業生

日本女子大学 家政学部 児童学科 卒業
テレビ朝日 アナウンス部

全力で応援し、評価してくれた環境が、常に私自身を突き動かす大きな力になった。

高校生活を一言で表すと「自由」でした。でも規則がない、放任という意味の自由ではありません。毎日、バレー教室へ通うために大きな荷物を持ち歩く私に、今日も頑張っってねと先生方は優しく送り出してくれました。部活、勉強、習い事など…。何かを頑張る人を、先生や周りの仲間が心から応援してくれる環境で、その頑張る何かは何でもいい！という自由さがあったのです。現在私は、テレビ朝日の「報道ステーション」という番組でフィールドキャスターを担当しています。全国各地で起きる事件、事故、災害、政治や経済といったさまざまなニュースを現地に赴き取材し、リポートする仕事です。まだまだ学びながら走り続けている毎日ですが、特に興味を感じた分野には、自ら企画書を出し密着取材をするなど、アナウンサーという枠をこえて躊躇なく新しい挑戦をする事ができています。高校生活で培った“好きな事に没頭する力”は、今も常に私自身を突き動かしています。



藤森 詩織さん 2013年 卒業生

慶應義塾大学 文学部 人文社会学科 国文学専攻 卒業
朝日新聞社 校閲センター

読み手として言葉と誠実に向き合った経験が、読者はどう受け取るかを考えさせてくれる。

文庫本まるまる1冊を少しずつ読み進めていく国語の授業が印象に残っています。ひとつの言葉から豊かに広がっていく世界に触れる時間が何よりも好きでした。授業をきっかけに、言葉が読み手に与える影響について興味を持ちました。新聞記事を書く際に大切なのは、記事に出てくる言葉やデータに誤りがないこと、そして「その表現で傷つく人がいないか」に気を付けることです。そのためには、言葉のもつ歴史的な背景や読者の気持ちにも気を配る必要があります。辞書を引いたり、自分の知識と照らし合わせたりして、記事の表現に問題がないかを確認する。そうやって一つひとつの言葉に向き合いながら文章を読んでいると、高校の授業を思い出します。また、高校時代の友人とは、卒業から10年経った今も関係が続いています。共通点がある人、全然タイプが違うのに隣にいて楽しい人……。自分を理解してくれる人に出会えたことが、本校に入ってよかったと思う一番の理由です。



MESSAGES

多様な進路

日本女子大学への進学

日本女子大学への進学を希望する生徒は原則として推薦されます。授業見学や説明会など大学での学びや生活を知る機会が豊富に用意されています。高校1年次の各学部概要説明に始まり、2年次には学科説明会、特別講義や研究室訪問なども行われます。その後、希望調査を経て、高校3年の1月に推薦入試を行います。日本女子大学は8学部16学科を擁する総合大学であり、例年75～80%の生徒が自分の希望に合う学科を選び、進学しています。定員を超過しなければ、自分の希望する学科に進学することができます(一部、進学のための要件が設定されている学科があります)。

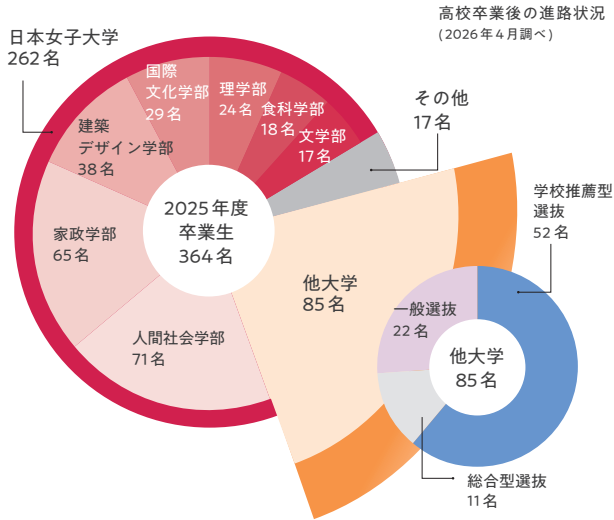
他大学への進学

医学や法学、芸術など、自分の目標のために日本女子大学以外の大学を希望する生徒は25%ほどです。このうち半数以上は学校推薦型選抜(指定校制と公募制)で合格しています。本校のカリキュラムで学び「自学自励」の精神を身につけた生徒たちが、多くの大学で評価されています。

過去3年間の既卒者を含む合格実績			
一部抜粋 ()は推薦合格者数			
国公立大学	2023	2024	2025
東京大学		1	
東京科学大学	1(1)	1(1)	
お茶の水女子大学		1	1
東京外国語大学		1	
東京学芸大学			1
東京藝術大学		1	
横浜国立大学			1
東京都立大学			1
横浜市立大学		1(1)	
北海道大学	1		1
東北大学	1		
大阪大学			1
北見工業大学	1		
新潟大学			1
富山大学		1	
香川大学			1
防衛医科大学校	1		1
国立看護大学校	1		

私立大学 医歯薬系	2023	2024	2025
大阪大学			1
岩手医科大学			1
北里大学	2(1)	3(2)	
杏林大学			1
慶應義塾大学	1		1
国際医療福祉大学	1		1
埼玉医科大学	1(1)		1
順天堂大学	1		
昭和医科大学			1
聖マリアンナ医科大学	1(1)		1
帝京大学	1	1(1)	
東京医科大学		1(1)	
東京女子医科大学	1	3(2)	
東邦大学	1		
東北医科薬科大学	1		1
獨協医科大学	1		1
日本大学			1
日本医科大学	2	1	1
昭和医科大学		1	2(2)
日本大学	3		4(1)
日本歯科大学	1		1(1)

医	歯	薬
順天堂大学		1
東京薬科大学	2(2)	2(1)
東京理科大学		1(1)
明治薬科大学	1(1)	2(1)



併願制度
日本女子大学への推薦資格を保持したまま、他大学を受験(学校推薦型選抜を除く)することができる制度です。2026年度入試では以下の場合について併願が可能となっていました。
●国公立大学及び各省庁大学校の受験
●私立大学は、日本女子大学にない8学部(医・歯・薬・看護・獣医・法・芸術・体育)のいずれか一つの学部の受験

私立大学	2023	2024	2025
慶應義塾大学	19(5)	11(8)	12(5)
早稲田大学	12(1)	4(1)	9(1)
上智大学	11(6)	10(6)	8(6)
東京理科大学	11(5)	5(4)	5(5)
学習院大学	3(3)	3(3)	7(4)
明治大学	11	4(1)	7(2)
青山学院大学	5(3)	10(6)	7(5)
立教大学	9(3)	7(5)	8(3)
中央大学	15(9)	16(11)	17(11)
法政大学	10(3)	4(1)	1(1)
国際基督教大学		1	
東京音楽大学			1
武蔵野美術大学	3	8	1
関西大学			1
関西学院大学			2
立命館大学			1

2025年度学校推薦型選抜(指定校制)一覧<一部抜粋>	
慶應義塾大学	理工学部(4)／商学部(1)
早稲田大学	基幹理工学部(1)
上智大学	法学部(3)／外国語学部(2)
東京理科大学	理学部第一部(2)／工学部(1)／薬学部(1)／先進工学部(2)／理学部第二部(3)
学習院大学	法学部(2)／経済学部(2)／理学部(4)
明治大学	理工学部(2)
青山学院大学	経済学部(1)／法学部(1)／経営学部(1)／理工学部(1)／社会情報学部(1)
立教大学	観光学部(1)／現代心理学部(2)
中央大学	法学部(5)／経済学部(1)／先進理工学部(2)／基幹理工学部(1)／総合政策学部(1)／国際経営学部(1)
法政大学	文学部(1)／グローバル教養学部(1)
立命館大学	理工学部(1)
北里大学	医学部(3)／獣医学部(1)
昭和医科大学	歯学部(2)
東京歯科大学	歯学部(1)
日本歯科大学	生命歯学部(1)／新潟生命歯学部(1)
明治薬科大学	薬学部(2)
昭和薬科大学	薬学部(2)
東京薬科大学	薬学部(2)／生命科学部(1)

日本女子大学へ

目白キャンパスで多様な学びを

8学部16学科がそろう文理融合の女子総合大学

少人数による教育で卒業研究(卒業論文・卒業制作)全員必修

山手線内の都心でありながら緑豊かな目白キャンパスで4年間学ぶ

詳細は日本女子大学の
大学案内または
Webサイトをご覧ください。



日本女子大学

家政学部

- 児童学科^{※1}
- 被服学科^{※2}

文学部

- 日本語日本文学科
- 英文学科
- 歴史文化学科

理学部

- 数物情報科学科
- 化学生命科学科

※1 2028年度より児童学科を基礎とした「人間科学部人間発達学科(仮称)」を設置構想中
※2 2028年度より被服学科を基礎とした「ファッションデザイン学部 ファッションデザイン学科(仮称)」を設置構想中
※3 2028年度より心理学科を基礎とした「人間科学部心理学科(仮称)」を設置構想中

人間社会学部

- 現代社会学科
- 社会福祉学科
- 教育学科
- 心理学科^{※3}

国際文化学部

- 国際文化学科

建築デザイン学部

- 建築デザイン学科

食科学部

- 食科学科
- 栄養学科

経済学部(仮称)

- 経済学科(仮称)

2027年4月設置構想中

日本女子大学 大学院

- 家政学研究科
- 人間生活学研究科
- 文学研究科
- 人間社会研究科
- 建築デザイン研究科
- 理学研究科
- 食科学研究科(仮称)

2027年4月設置構想中

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2025年度の実就職率は約99.5%(2026年3月現在判明分)、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱えています。

就職率

2026年3月卒業生実績

99.5%

内定先への満足度

2026年3月卒業生実績

97.9%

有効回答率81.4%

【主な就職先】 ※()内の数字は人数

日本生命(14)／リソナ(8)／ソフトバンク(6)／日本航空(6)／NEC(5)／日本IBM(5)／JR東日本(5)／三井住友海上火災保険(5)／住友生命(5)／ANA(4)／明治安田生命(4)／日本郵便(4)／日本銀行(3)／SMBC日興証券(3)／横浜銀行(3)／大和証券グループ(3)／みずほフィナンシャルグループ(3)／富国生命(3)／積水ハウス(3)／大成建設(3)／清水建設(3)／日本総合研究所(3)／大塚商会(3)／富士ソフト(3)／NTTドコモ(3)／JCOM(3)／東京電力ホールディングス(3)／セコム(3)／TOPPAN(3)／麒麟ホールディングス(3)／帝国ホテル(3)／エイチ・アイ・エス(3)／みずほ証券(2)／ジェーシービー(2)／中央労働金庫(2)／ゆうちょ銀行(2)／旭化成ホームズ(2)／ミサワホーム(2)／住友林業(2)／NHK(2)／リコーITソリューションズ(2)／SCSK(2)／NTT東日本(2)／電通総研(2)／アクセンチュア(2)／DNP(2)／日本通運(2)／東急百貨店(2)／成城石井(2)／ニトリ(2)／ニュー・オータニ(2)／H.I.S.ホテルホールディングス(2)／三菱UFJ銀行(1)／三井住友銀行(1)／楽天カード(1)／東京海上日動火災保険(1)／スウェーデンハウス(1)／三井不動産(1)／西村あさひ法律事務所・外国法共同事業(1)／トーマツ(1)／楽天グループ(1)／TBSテレビ(1)／森永乳業(1)／日本食研ホールディングス(1)／伊藤園(1)／カルビー(1)／サントリーホールディングス(1)／ファンケル(1)／オルビス(1)／東武百貨店(1)／高島屋(1)／良品計画(1)／地方公務員(90)／国家公務員(16)／公立幼稚園教員(5)／公立小学校教員(29)／公立中学校教員(18)／公立高等学校教員(4)

※教員は期限付任用教員を含む